

陳情第11号	平成23年6月1日受理
付託委員会	文教安全常任委員会
件名	自衛隊習志野演習場内の火薬庫建設について住民説明会の開催を求める件
陳情要旨	
<p>3月に発生した東日本大震災は、多重防護により日本の原発は絶対に大事故は起きないという「安全神話」を崩しました。この「福島原発の未曾有の人的災害」を目の当たりにして習志野基地の大型火薬庫の安全性について、改めて周辺住民や自治会から「火災や爆発事故が起きたらどうなるのか。自衛隊演習場は、八千代台・高津・高津団地・高津東・大和田新田の広域避難場所にも指定されている。安全対策の説明会を至急開いてほしい」との声が上がっています。</p> <p>今年3月末に完成した習志野演習場内の火薬庫建設について、八千代市平和委員会は計画の撤回を求める請願（21年3月議会）、住民説明会を求める陳情（21年6月議会・12月議会）を提出してきました。また、市民グループ、自治会が繰り返し市議会への陳情や市の担当部門への要請を行ってきました。さらには八千代市議会議員有志10名による八千代市長への要請、日本共産党県・市議団（八千代・習志野・船橋）からの市長あて要望書も出されましたが、当然行われるべき住民への説明会はいまだ実現していません。</p> <p>しかし、22年4月の防衛省と日本共産党県・市議団との交渉では、説明会を避けている防衛省も「自治体が説明会を行えば参加を検討する」と答えています。</p> <p>ここにおいて、八千代市は市民の不安を解消するため、防衛省に参加を要請して、住民への説明会を早急に開催するよう要望し、改めて陳情します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 八千代市は、自衛隊習志野演習場内の火薬庫について防衛省の説明による集会を早急に開催すること。</p>	